

**Arealink**

**エリアリンク株式会社**

**2023.2.14**

**2022年12月期**

**決算説明資料**

# 2022年12月期決算概要

取締役管理本部長補佐 大滝 保晃

## 売上利益とも予算上ブレ、増収増益トレンドへ転換

単位：百万円

	FY2021		FY2022		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>20,572</b>	<b>—</b>	<b>20,878</b>	<b>—</b>	<b>1.5%</b>
売上原価	14,536	70.7%	14,160	67.8%	△2.6%
売上総利益	6,035	29.3%	6,717	32.2%	11.3%
販管費	2,990	14.5%	2,975	14.3%	△0.5%
<b>営業利益</b>	<b>3,044</b>	<b>14.8%</b>	<b>3,742</b>	<b>17.9%</b>	<b>22.9%</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,009</b>	<b>14.6%</b>	<b>3,758</b>	<b>18.0%</b>	<b>24.9%</b>
特別損益	1,510	7.3%	103	0.5%	△93.1%
税引前当期純利益	4,519	22.0%	3,862	18.5%	△14.5%
<b>当期純利益</b>	<b>3,171</b>	<b>15.4%</b>	<b>2,883</b>	<b>13.8%</b>	<b>△9.1%</b>

## ファンド物件売却による投資有価証券清算益 1.3 億円

単位：百万円	2021/12	2022/12	前年同期比
営業利益	3,044	<b>3,742</b>	22.9%
営業外収益	164	<b>191</b>	16.7%
営業外費用	199	<b>175</b>	△12.2%
経常利益	3,009	<b>3,758</b>	24.9%
特別利益	1,833	<b>153</b>	△91.6%
特別損失	323	<b>50</b>	△84.4%
税引前当期純利益	4,519	<b>3,862</b>	△14.5%
法人税等	734	<b>1,021</b>	39.1%
法人税等還付額	-	<b>△ 235</b>	-
法人税等調整額	613	<b>192</b>	△68.5%
当期純利益	3,171	<b>2,883</b>	△9.1%

営業外収益  
移転補償金 74百万円  
匿名組合投資利益 56百万円

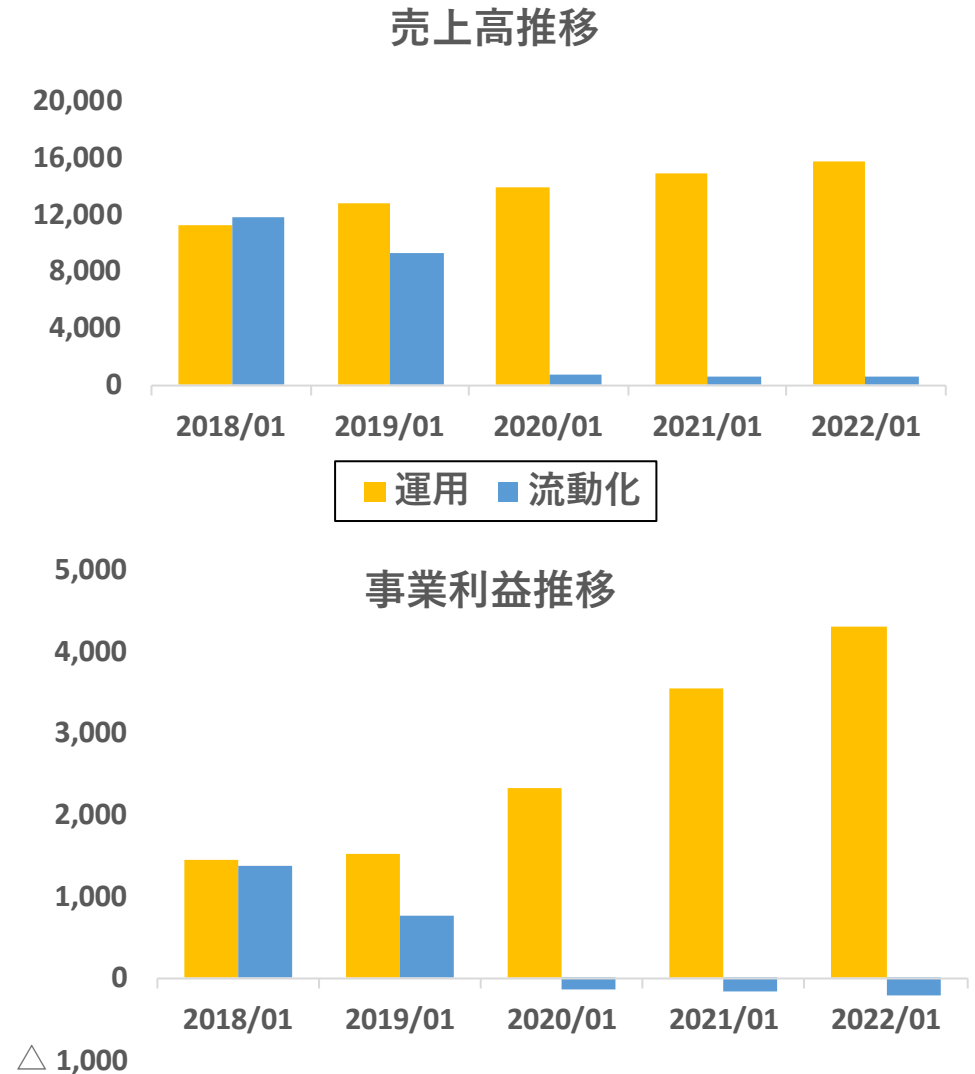
営業外費用  
支払利息 108百万円

特別利益  
投資有価証券清算益 136百万円

特別損失  
固定資産除却損 35百万円

### 予算達成、運用の大幅増益継続

ストレージ事業			
(百万円)	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比
売上高	15,469	16,366	+5.8%
売上総利益	4,845	5,564	+14.8%
販管費	1,430	1,479	+3.5%
事業利益	3,415	4,084	+19.6%

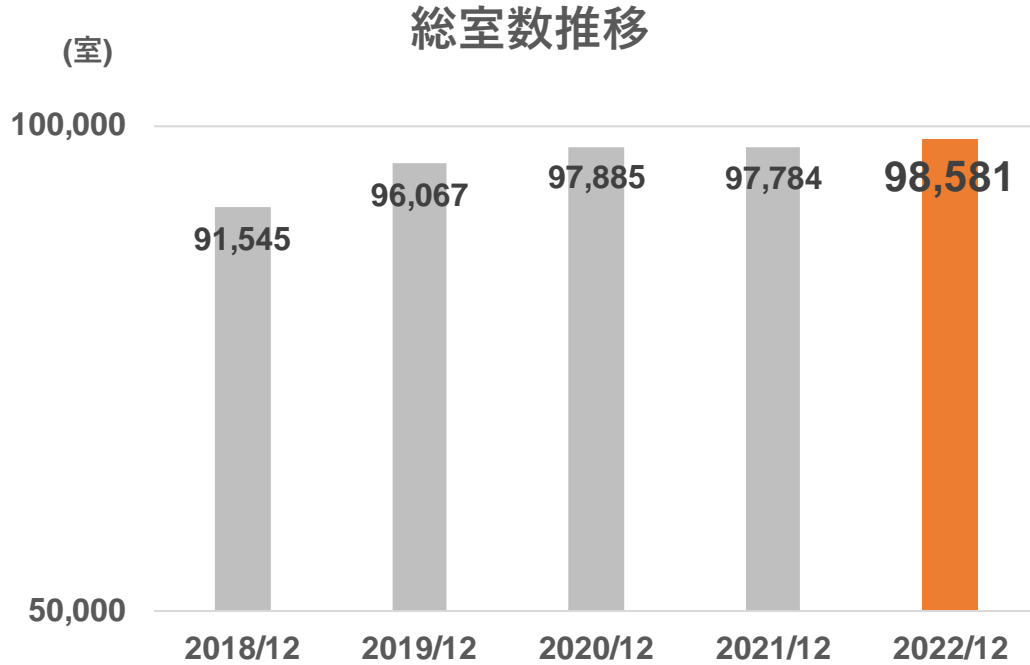


### 予算を達成し増収増益継続、事業利益20%超の増益

ストレージ運用			
(百万円)	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比
売上高	14,941	15,725	+5.2%
売上総利益	4,760	5,509	+15.7%
販管費	1,192	1,202	+0.9%
事業利益	3,568	4,306	+20.7%

- ストレージ運用：事業利益率が前期比 3.5pt 増
- 総室数は前期末比 797 室増の 98,581 室と増加に転換
- 稼働率は前期末比 3.50pt 増の 89.36%  
2003年の上場来最高値を記録
- 大幅増益の要因
  - ・ 稼働率の大幅上昇
  - ・ 値引きをはじめとしたコストコントロール

### 出店の再加速を開始



#### ■ 出店

全体で2,915室を出店

コンテナ 79物件 2,141室

ストレージミニ 16物件 774室

#### ■ 今後出店を大幅加速（詳細は中期経営計画にて）

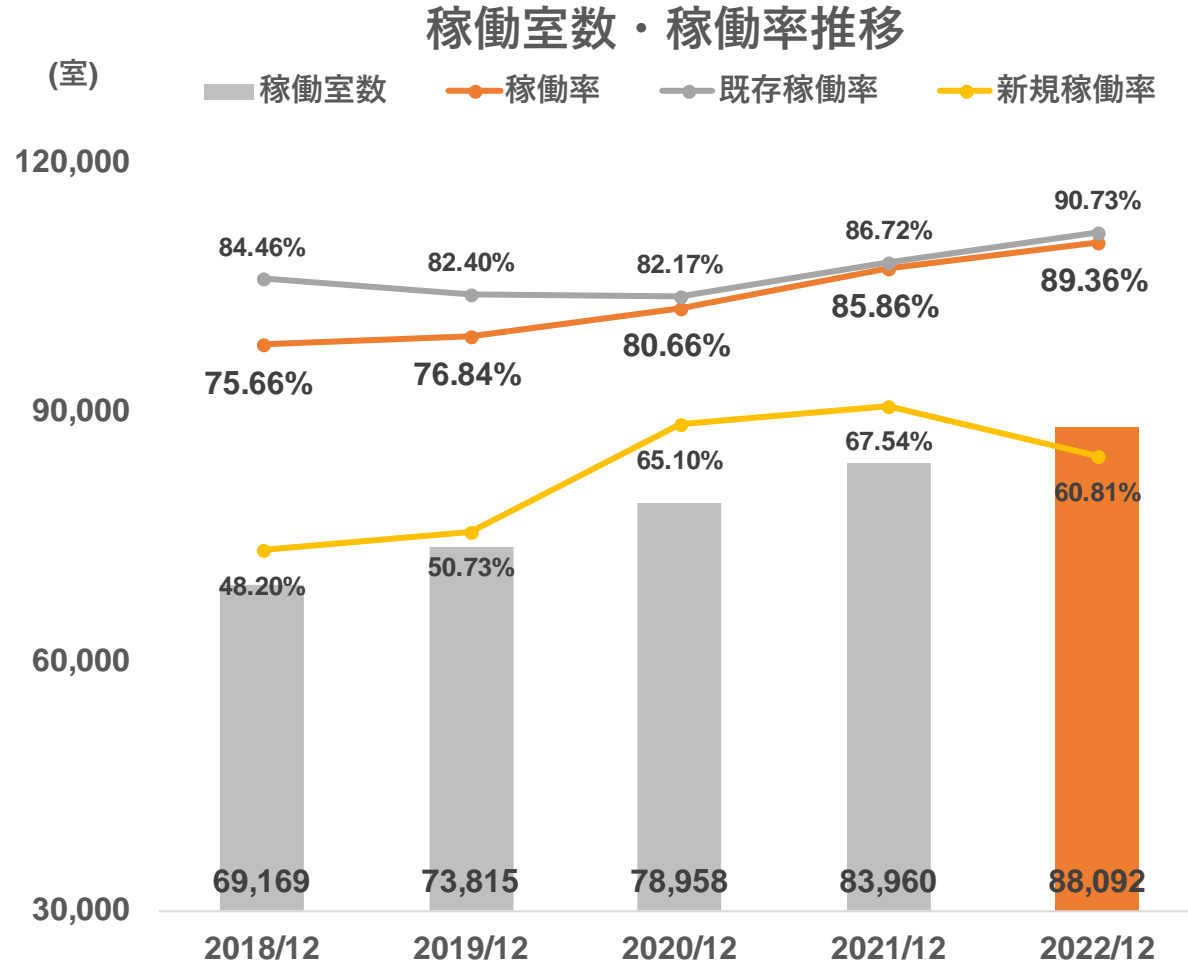
2023年度 4,700室

2024年度 10,400室

2025年度 14,000室

	計画	実績
2022年 新規出店室数	2,300	2,915

### 稼働率は高水準継続



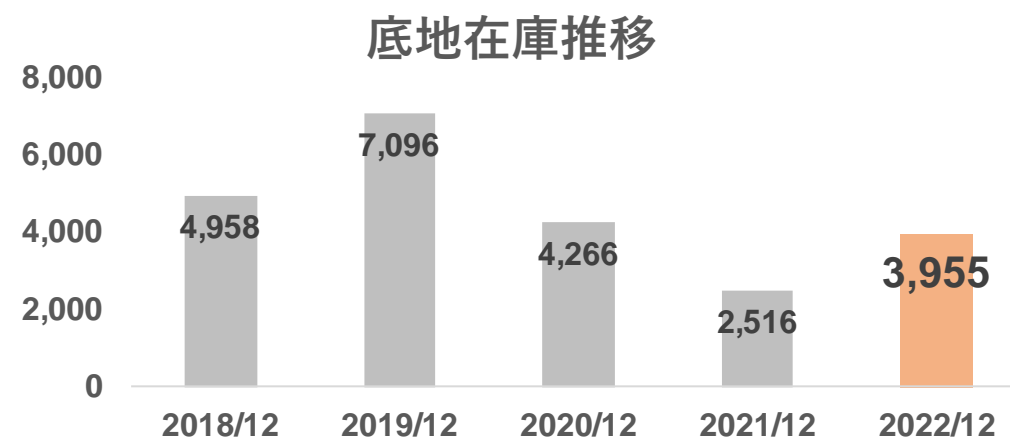
- 稼働率は年々改善を続け、全体では89.36%、既存物件の稼働率に限ると90.73%と9割超え
- 稼働率向上の要因
  - リモートワーク等を起因とした自宅整理需要
  - 出店の精度向上による新規物件の稼働率改善
  - 新規物件を抑制したことによる在庫減少



### 売上・利益ともに修正計画を達成、仕入の本格再開

土地権利整備事業			
(百万円)	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比
売上高	3,716	3,110	△16.3%
売上総利益	743	704	△5.2%
販管費	301	240	△20.2%
事業利益	442	464	+5.0%

- 前年比で大幅減収もビジネスの質向上により利益は増益に変換
- 仕入れ再開、2022年期末時点での在庫額は前期末比1,439百万円増の3,955百万円



## 売上・利益ともに予算達成、パーキング事業譲渡も増収

その他運用サービス事業			
(百万円)	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比
売上高	1,385	1,400	+1.1%
売上総利益	445	448	+0.6%
販管費	63	74	+17.9%
事業利益	382	373	△2.2%

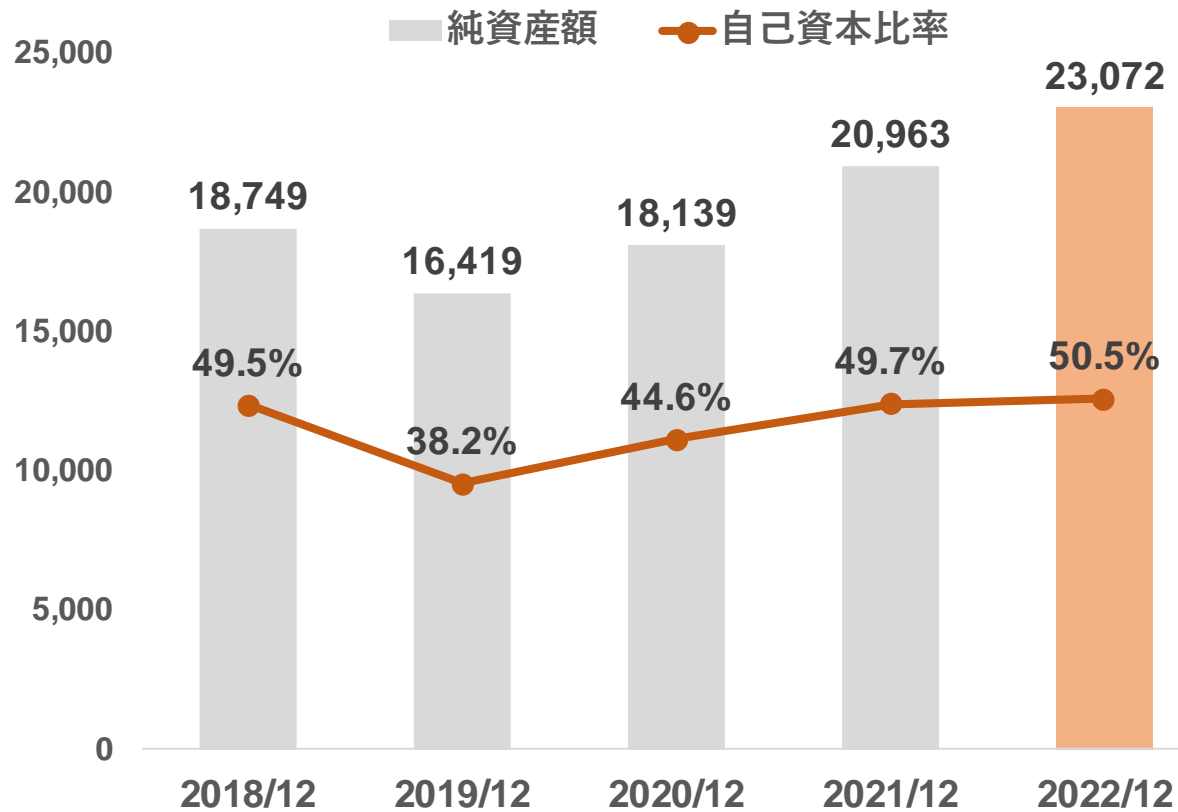
- パーキング事業譲渡による影響で減収効果があったものの、全体では増収の結果
- アセット  
減収減益、ほぼ予算並みの業績
- オフィス  
売上達成も新店オープン経費で若干の利益下振れ



### 自己資本比率50%維持、無借金体質

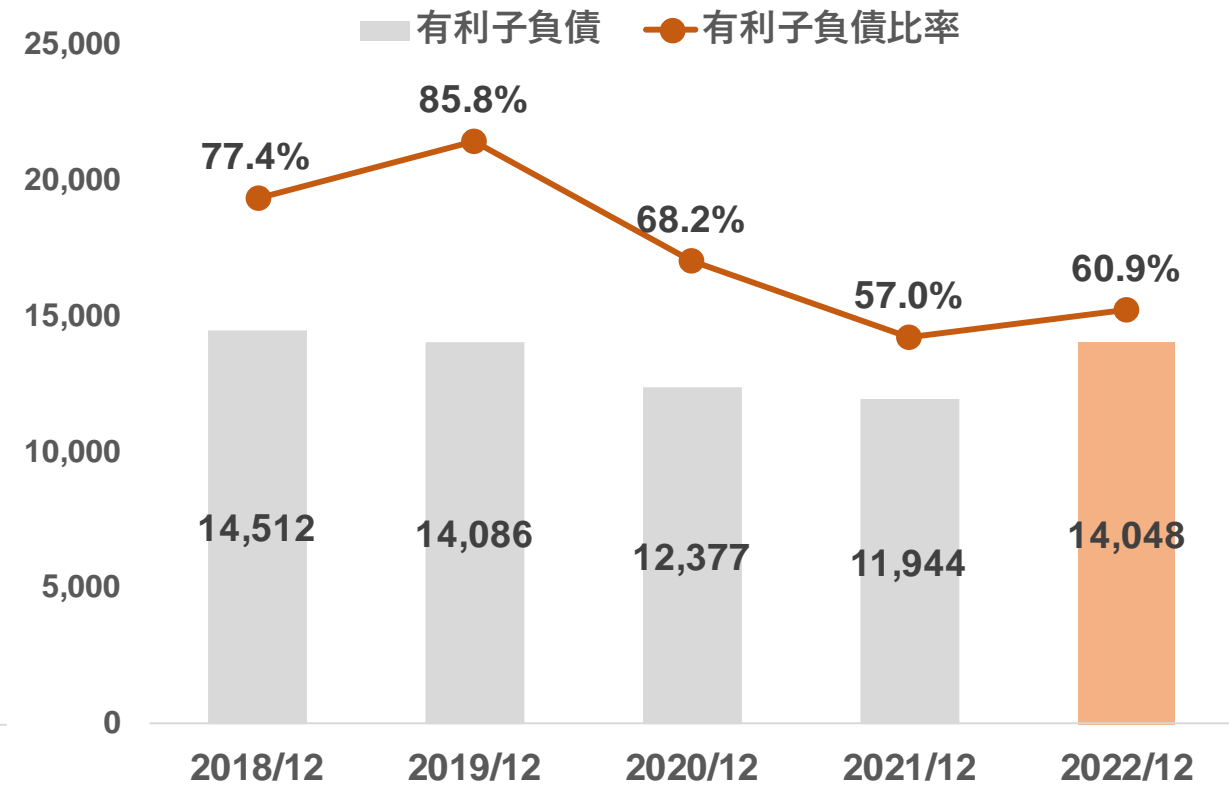
自己資本比率の推移

単位: 百万円



有利子負債の推移

単位: 百万円



有利子負債：短期借入金+社債(1年内含む)+長期借入金(1年内含む)+リース債務  
 有利子負債比率：純資産額に対する有利子負債額の割合

単位：百万円

	FY2021	FY2022
営業活動によるCF	5,741	<b>1,605</b>
投資活動によるCF	△ 1,264	△ <b>2,258</b>
財務活動によるCF	△ 825	<b>1,492</b>
期末現預金残高	13,440	<b>14,299</b>

### 営業CF

税引前当期純利益	3,862 百万円
たな卸資産の増減額	1,797 百万円

### 投資CF

有形固定資産の取得による支出	2,189 百万円
----------------	-----------

### 財務CF

長期借入による収入	5,180 百万円
長期借入の返済による支出	2,364 百万円
配当金の支払額	595 百万円

# 中期経営計画23-25

単位：百万円	2022年		2023年		2024年		2025年	
	実績	利益率	計画	利益率	計画	利益率	計画	利益率
売上高	20,878	—	21,800	—	24,400	—	28,100	—
営業利益	3,789	18.2%	4,050	18.6%	4,650	19.1%	5,500	19.6%
経常利益	3,806	18.2%	3,930	18.0%	4,520	18.5%	5,350	19.0%

ストレージ 新規出店室数*	2,915室	4,700室	10,400室	14,000室
------------------	--------	--------	---------	---------

\*解約は除く

- 成長計画－ストックビジネスへ構造改革完了、出店加速で売上も伸ばす計画
- 新規出店室数：2022年に2,915室 ⇒ 2023年4,700室、2024年には1万室以上と出店加速  
その後も出店を順次加速していく計画
- 同時に、利益率の改善も着実に進め営業利益率を早期に20%達成目指す

## 中期経営経営計画「出店の再加速」

- 成長計画－ストックビジネスへの構造改革完了、出店加速で売上増
- 新規出店室数：2022年に2,915室⇒ 2023年4,700室  
2024年には1万室以上、その後も順次加速を目指す
- 利益率の改善も着実に進め、営業利益率を早期に20%達成目指す



単位：百万円	2022/12		2023/12		
	実績	売上比	計画	売上比	前年同期比
売上高	20,878	—	<b>21,800</b>	—	<b>+4.4%</b>
営業利益	3,742	17.9%	<b>4,050</b>	<b>18.6%</b>	<b>+8.2%</b>
経常利益	3,758	18.0%	<b>3,930</b>	<b>18.0%</b>	<b>+4.6%</b>
純利益	2,883	13.8%	<b>2,600</b>	<b>11.9%</b>	<b>△9.8%</b>

単位：百万円

		2022/12		2023/12		
		実績	売上比	計画	売上比	前年同期比
ストレージ事業	売上高	16,366	—	<b>17,200</b>	—	<b>+5.1%</b>
	営業利益	4,084	25.0%	<b>4,440</b>	<b>25.8%</b>	<b>+8.7%</b>
土地権利整備事業 (底地)	売上高	3,110	—	<b>3,250</b>	—	<b>+4.5%</b>
	営業利益	464	14.9%	<b>520</b>	<b>16.0%</b>	<b>+12.0%</b>
その他運用 サービス事業	売上高	1,400	—	<b>1,350</b>	—	<b>△3.6%</b>
	営業利益	373	26.7%	<b>305</b>	<b>22.6%</b>	<b>△18.4%</b>
管理部門経費	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	△ 1,180	—	<b>△ 1,215</b>	—	<b>+2.9%</b>
全社	売上高	20,878	—	<b>21,800</b>	—	<b>+4.4%</b>
	営業利益	3,742	17.9%	<b>4,050</b>	<b>18.6%</b>	<b>+8.2%</b>

- ストレージ事業は着実に増収増益の計画
- 土地権利整備事業は利益率が上がることにより、増収増益の計画

## 2022年度の利益にかかる配当の増額を決定（64円⇒69円）

## 1株当たり配当金及び配当性向

	2022年（予定）	2023年（予想）
1株当たり配当金(円)	69円	62円
配当性向	30.3%	30.2%

- 株主還元の基本的な考え方 純利益の30%以上を配当の原資とする
- 2022年度の利益は法人税の還付や投資有価証券清算益の影響が含まれる

# 基本方針と重点施策

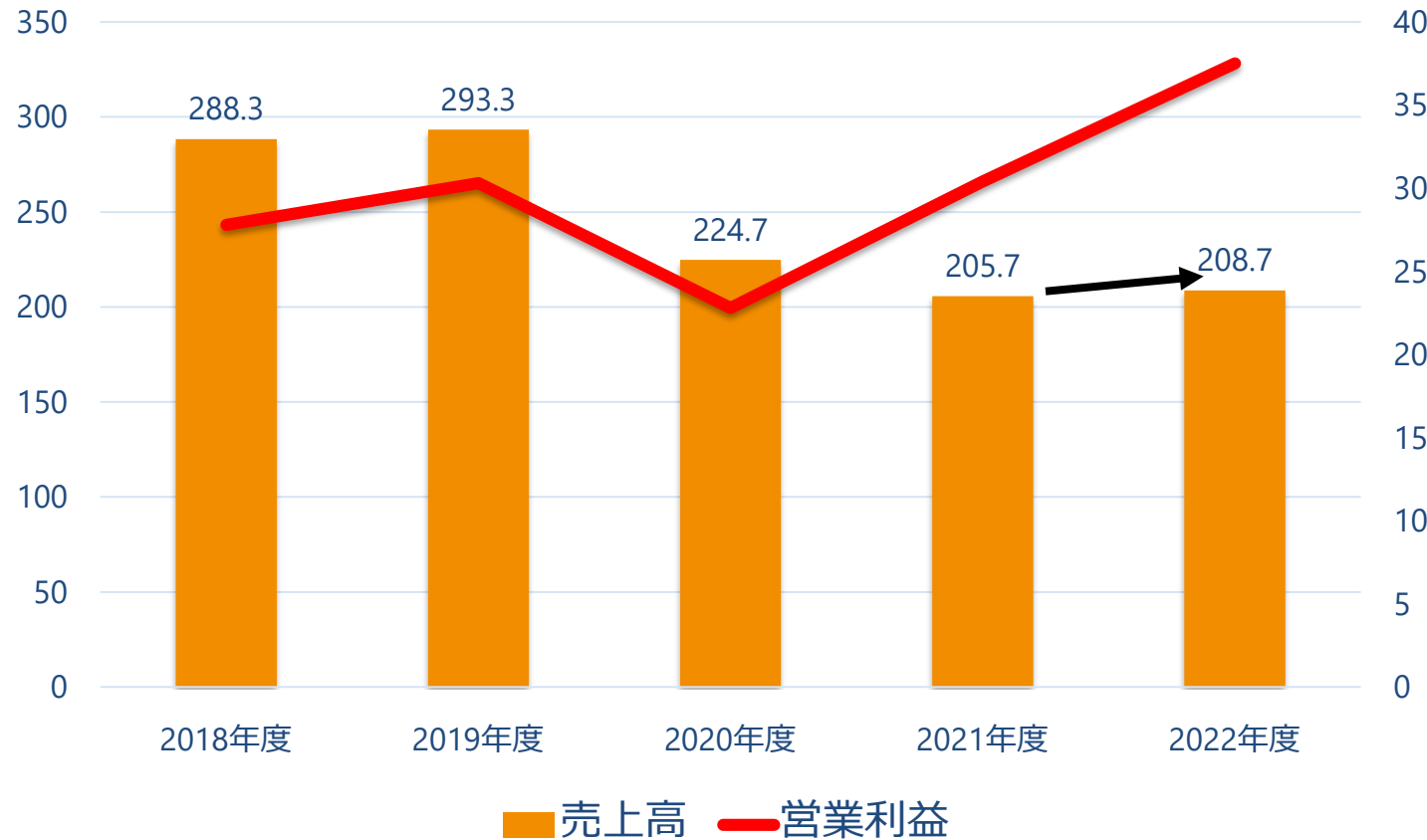
---

代表取締役社長      林 尚道

# 2022年度の振り返り

## 4期ぶりに増収増益を達成

### 売上高・営業利益推移（単位：億円）



2019年12月期以降、利益の増益は継続して達成していたが、売上高は減収が継続していた

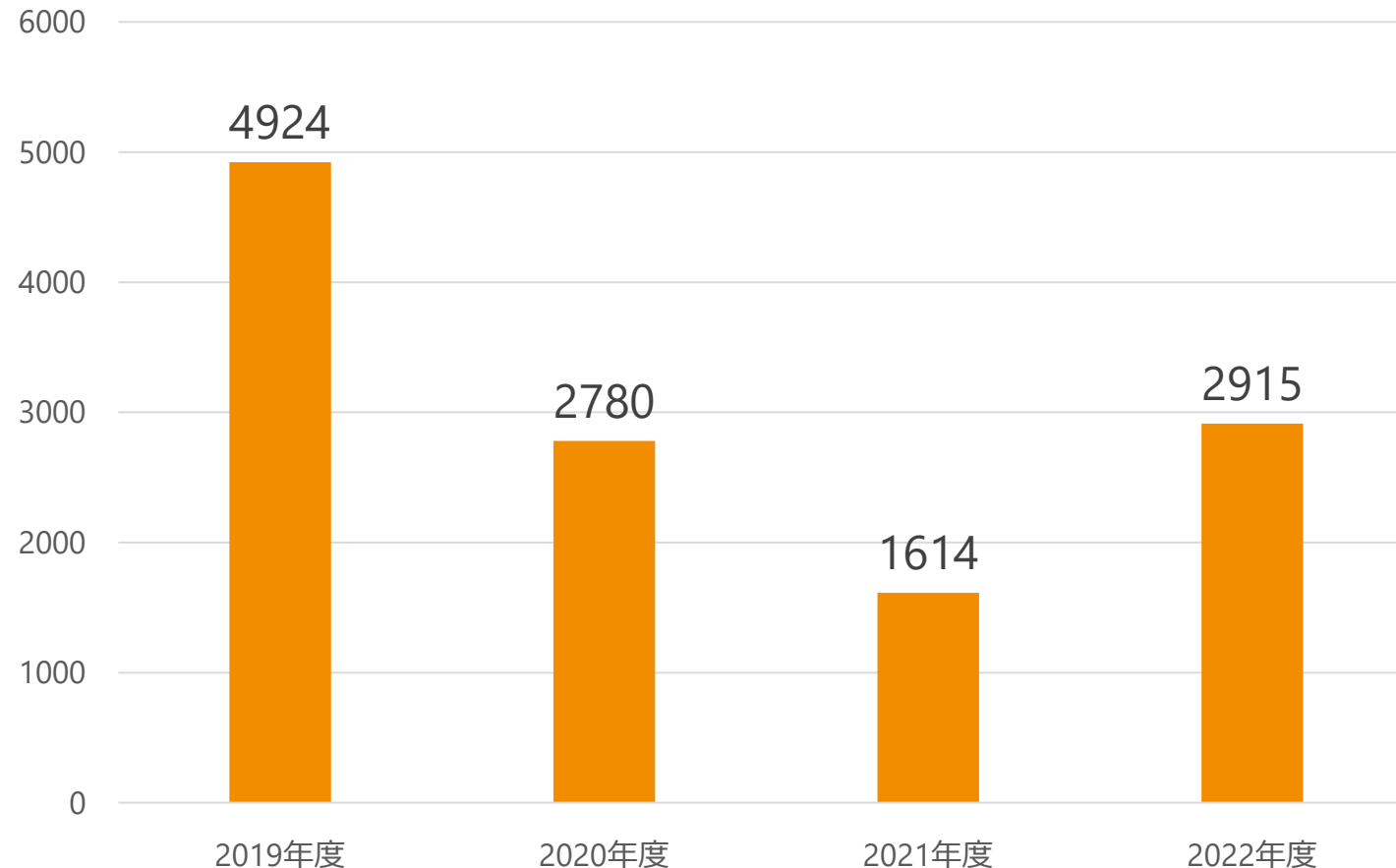
2022年12月期は、昨年に対して+1%と微増ながら、増収トレンドに転換することができた

同時に、利益の増益傾向も継続している



## ストレージ出店の加速開始 昨年比で倍増

### 新規出店数



2016年～2019年の3カ年では毎年1万室前後出店していたものの、コロナ禍などを考慮し、出店を抑制していた。

今後の成長を見据え、出店を再開、2022年度では昨年のほぼ倍の約3千室の出店となった



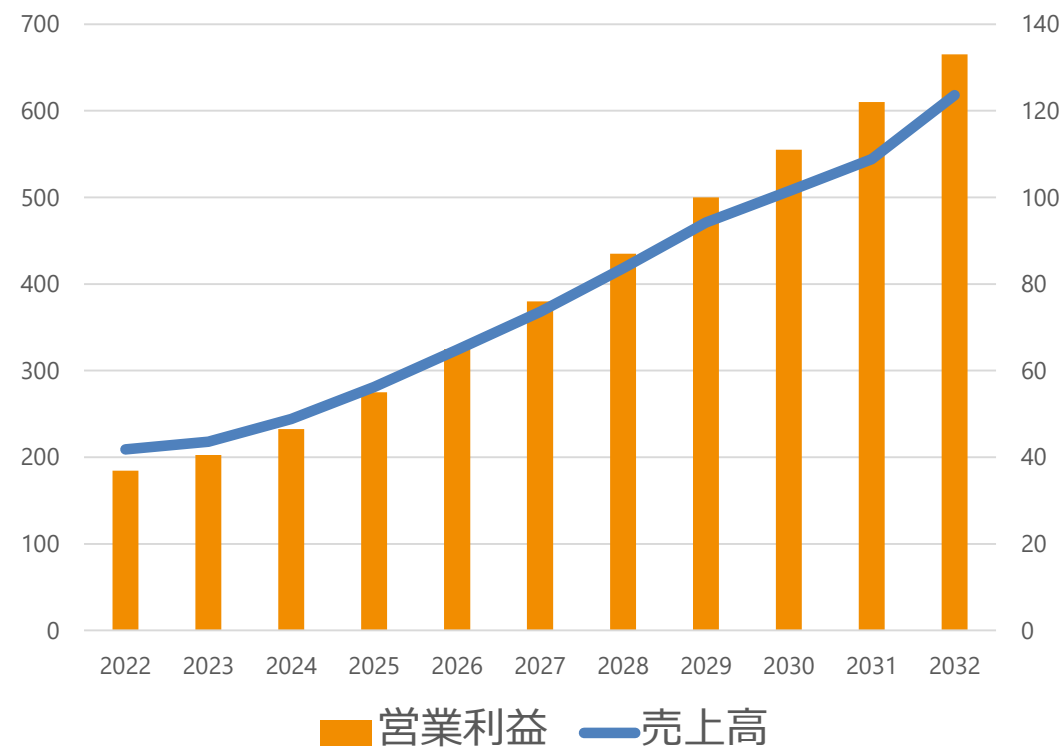
# ストレージ事業の急拡大について

今後3カ年で利益は平均15%成長継続  
7年後には営業利益100億円目指す

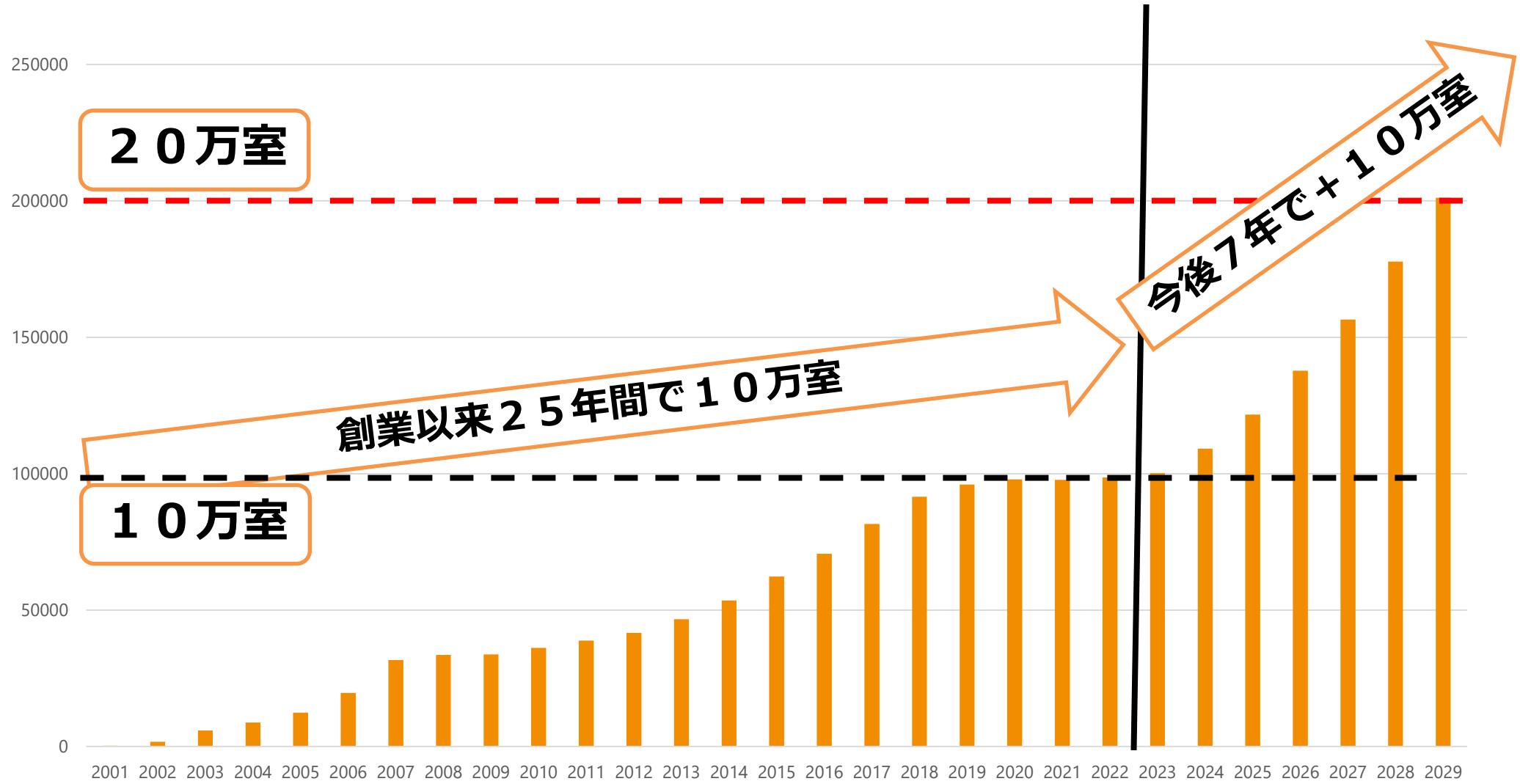
中期経営計画数値  
(単位：億円)

(億円)	2022	2023	2024	2025
	実績	中期計画	中期計画	中期計画
売上高	208.7	<b>218.0</b>	<b>244.0</b>	<b>281.0</b>
営業利益	37.4	<b>40.5</b>	<b>46.5</b>	<b>55.0</b>
経常利益	37.5	<b>39.3</b>	<b>45.2</b>	<b>53.5</b>

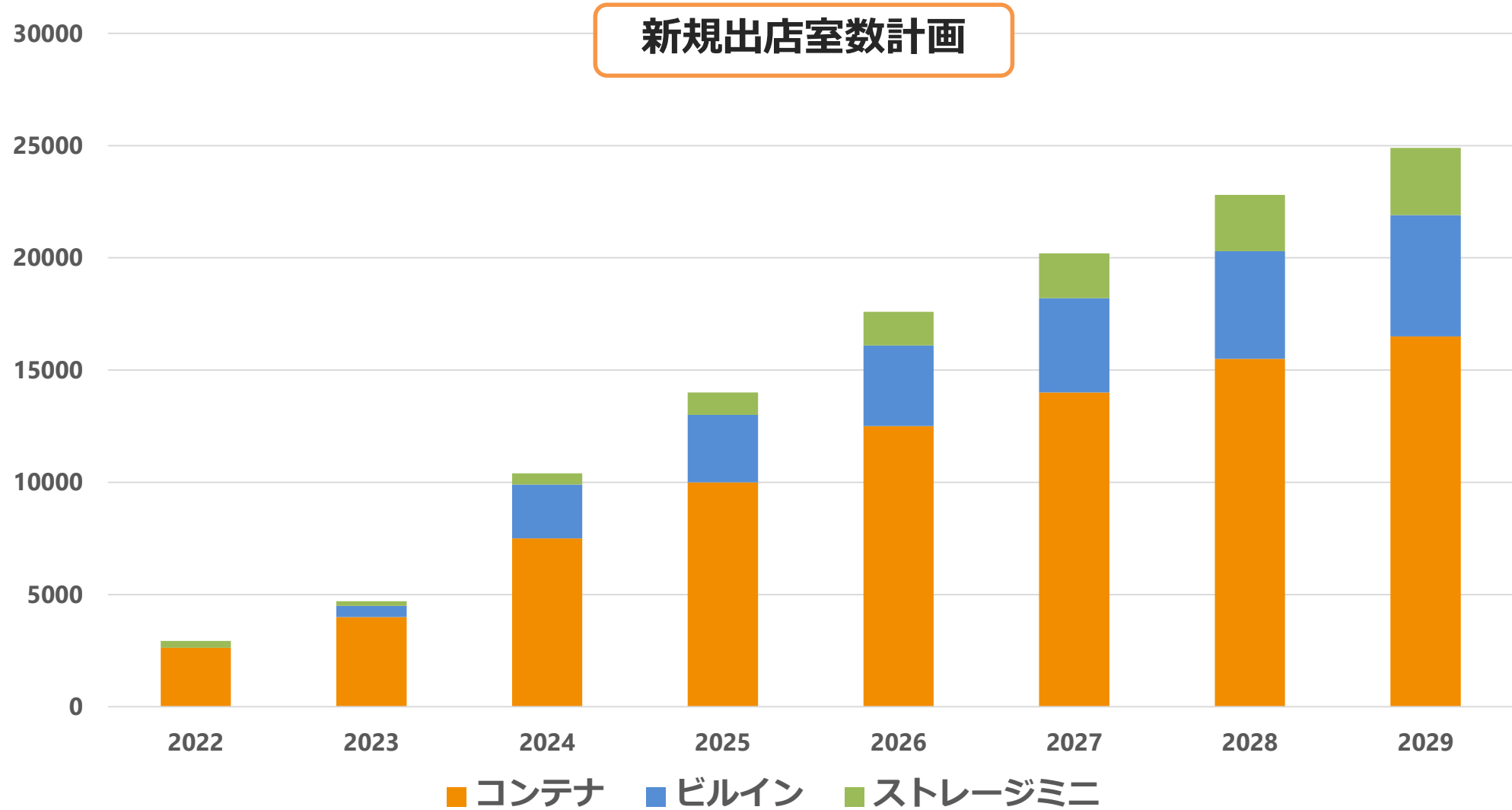
10カ年イメージ



**【出店加速】 今後7年で現在の倍20万室へ**  
**過去：25年10万室⇒今後：7年10万室と4倍速**



24年度に年間約1万室、7年後には年間2万5千室の出店を計画



数年かけて体制を整えてきたことで、出店加速ができる環境へ

- ◆ 出店に関する日本全国のデータベースの構築
    - 出店エリアの拡大
    - 出店精度の大幅な向上
  - ◆ マンパワーに頼らない営業体制の確立
    - 無駄を省いた効率的な営業活用の展開
- ⇒ 一気に出店を増加できる体制

**今後、出店の急拡大を支えるための追加施策**

**出店営業チーム及び施工部隊の体制強化**

**シンクタンクと連携し、出店データベースの更なる精度向上**

**出店エリアの拡大（未開拓エリアへの進出）**

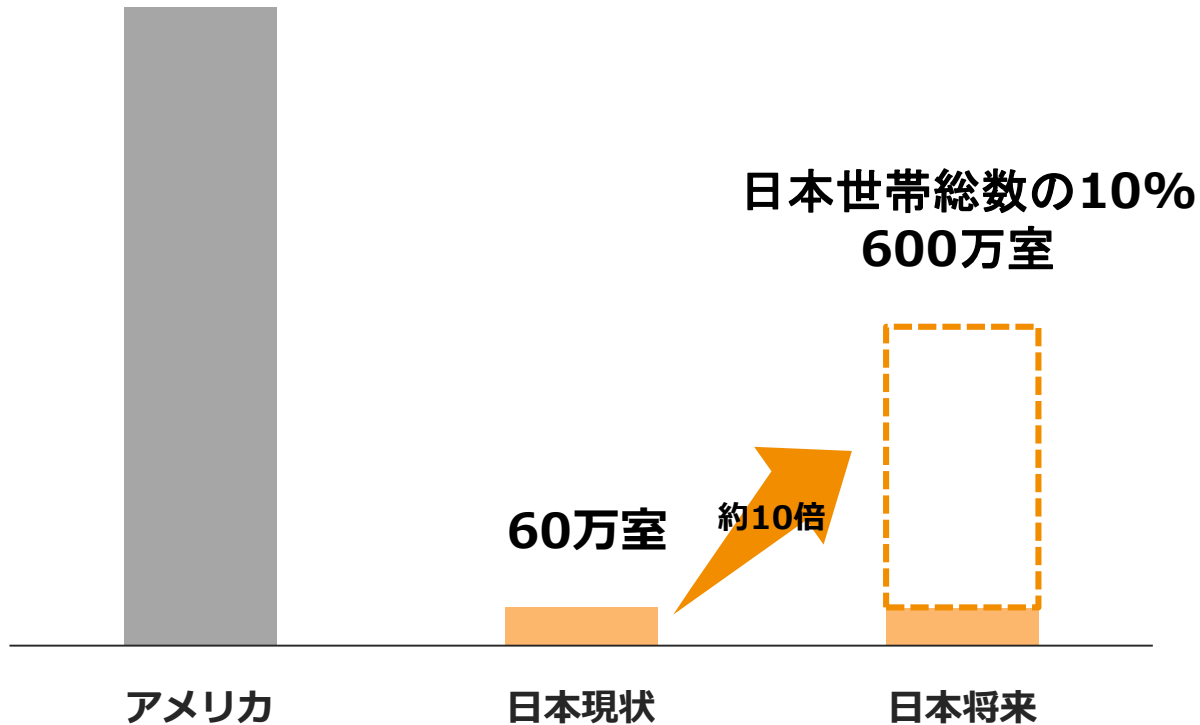
**コンテナに加えてストレージミニ、ビルイントランクの出店強化**

**他社のM&Aの検討、代理店営業、受託営業の仕組化**

## 米国比で日本は10倍の成長余地がある

### 米国のストレージ利用状況比較

1,350万室 = 米国の世帯総数の10.6%が利用



アメリカの利用室数 <参照: DEMAND STUDY - Self Storage Association>  
 日本の現状 <当社調べ>  
 日本の将来: 日本の世帯総数\*の10%で当社が算出 <\*参照: 令和2年国勢調査結果 総務省統計局>

### 米国ストレージ会社との規模比較

#### 米国

##### パブリックストレージ

(時価総額: 580億ドル、PER: 77倍、PBR: 7倍)

##### エクストラ・スペース・ストレージ

(時価総額: 230億ドル、PER: 48倍、PBR: 8倍)



#### 日本

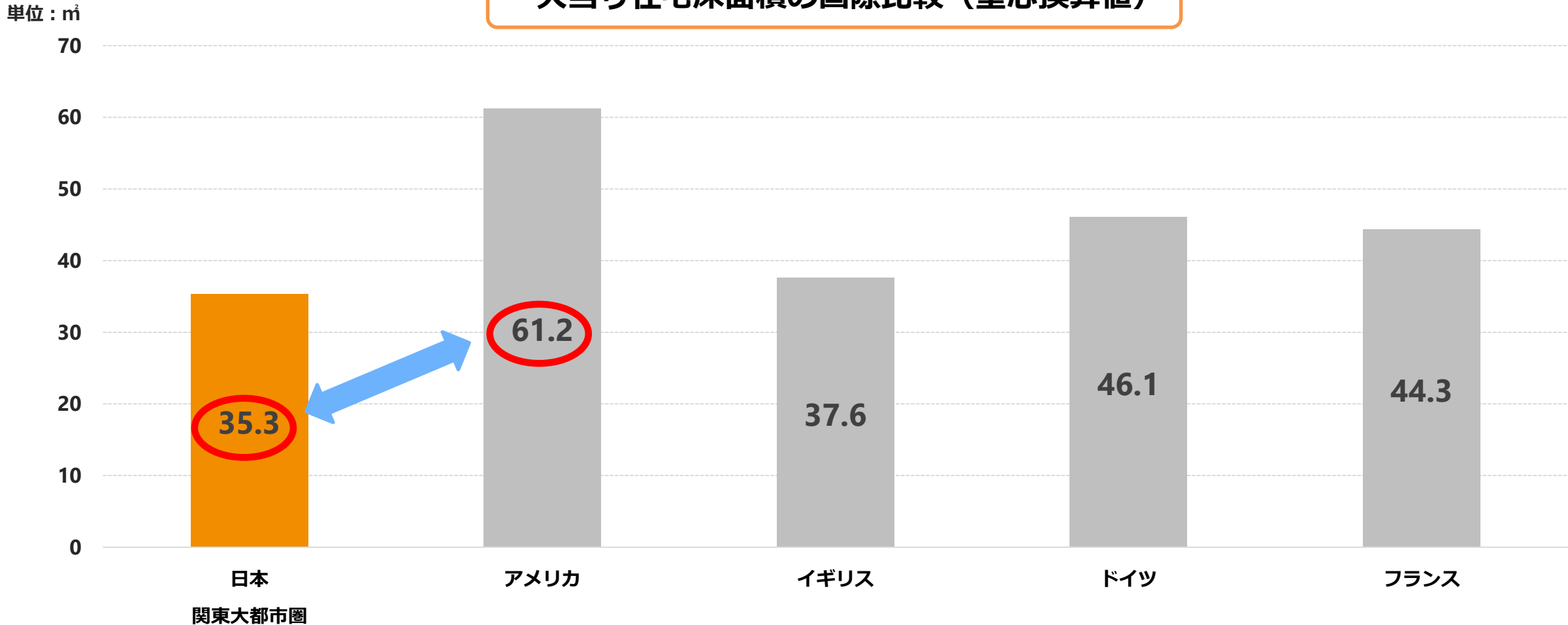
##### エリアルリンク

(時価総額: 241億円、PER: 8.8倍、PBR: 1.05倍)

2023年2月6日時点

## 日本の住宅床面積は狭く、収納に関する潜在需要が高い

一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）



参照：国土交通省「令和2年度 住宅経済関連データ」  
住宅水準の国際比較 (2) 一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）



## 類似ビジネス = 時間貸し駐車場事業

< 借りた土地に設備を設置しサービスを提供 >



- ◆ 土地を借りて運用するビジネス
- ◆ ストックビジネス
- ◆ 生活に密着したサービス
- ◆ 無人オペレーション・高収益

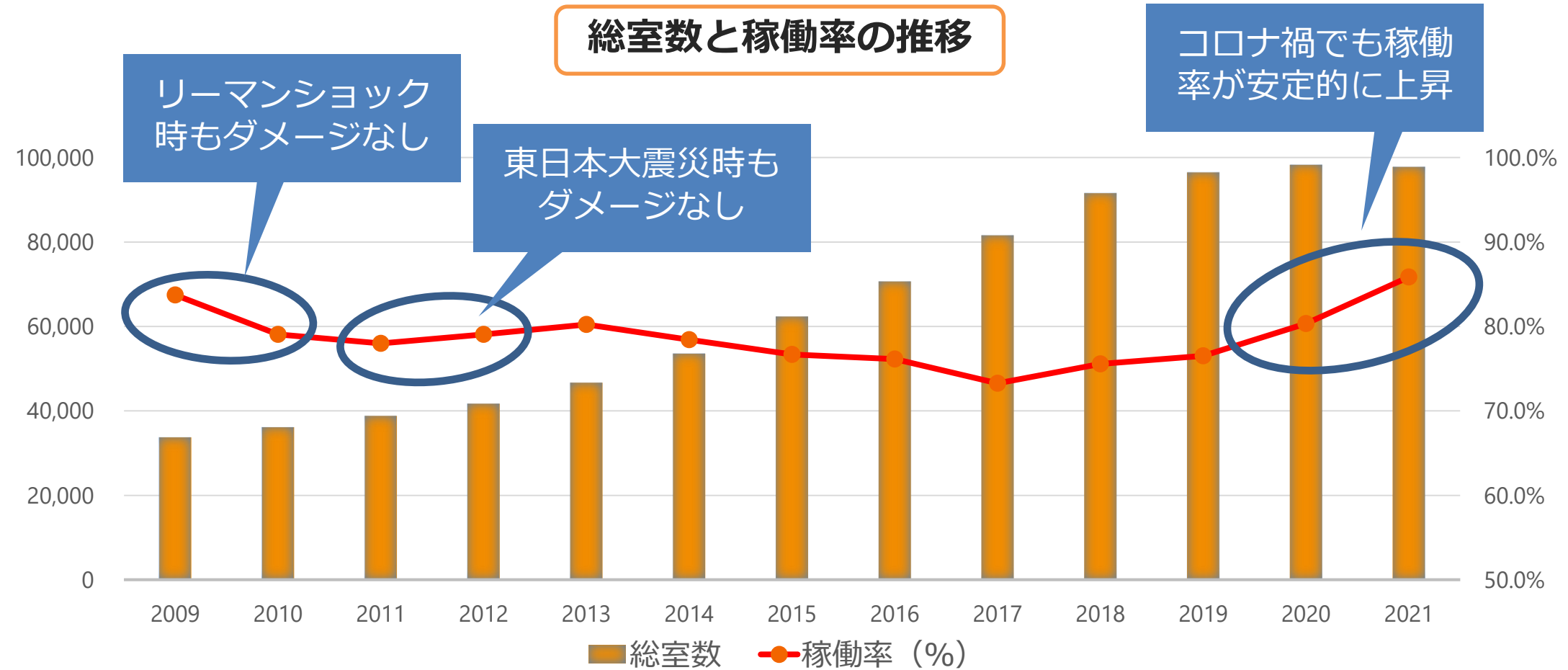
## ストレージの優位性

- ◆ 日本ではこれから発展するステージの産業
- ◆ 高利益率・安定収益性(コロナ禍前比較で安定高収益)
- ◆ コロナ禍でも影響を受けない安定性

## ストレージの課題と対策

- ◆ 商品がまだ知られていない ⇒ 差別化戦略
- ◆ 絶対的な物件数が少ない ⇒ 出店戦略
- ◆ 最初は赤字スタート ⇒ 小型化、出店精度

# リーマンショック・東日本大震災・コロナ禍でも順調に稼働率が向上するビジネス



**当社の出店方針：早期に収益化できる小型物件中心**

	他社	当社
サイズ	大型	小型
立地	都心のみ	全国（都心・地方）
室数	100室以上	30 - 40室
建築様式	鉄骨、鉄筋	木造・コンテナ
運営	有人	無人
収益性	当初数年赤字	初年度から黒字化
例えるなら・・・	大型スーパー	コンビニエンスストア

### サービス開発・現場改善をたゆまず実施⇒お客様満足向上を追求

#### 運搬サービス：ハロー宅配便



- 自宅からトランクルームまでをスムーズに収納可能
- さらに便利さを感じてもらえるサービスにする

#### ラック販売・組立サービス



- 収納容量増・整理整頓が容易に
- ラック付部屋の稼働が好調



首都圏1都3県で  
ラック販売・組立サービスを開始

#### 交通系ICカードのセキュリティ



- カードキーの発行や管理の煩わしさを低減
- 複数名利用時にはカードキーの追加発行が不要
- スマートフォンアプリで開錠可

コンテナの新しいデザイン導入  
10年ですべての物件を新デザインへ変更



旧デザイン



新デザインによるコンテナ現場



グレーとオレンジを基調に落ち着きと  
清潔感があり、住宅と調和する外観へ

### ストレージミニの新しいデザイン導入

2022年9月オープン物件から新デザイン導入



シックで高級感のあるカラーリング  
内装も合わせて全体コーディネート



- ◆ エリアリンク＝収納のプロ集団  
⇒全社員が整理収納アドバイザー 2 級取得
- ◆ 社員全員で毎年「収納コンテスト」開催  
⇒社員が切磋琢磨、より便利で使いやすいサービスを提案
- ◆ 整理収納のすばらしさを世の中に伝道
- ◆ 整理収納の向上⇒金銭・時間・心の余裕

## 「整理収納写真コンテスト」開催及び「トランクルームの日」制定

- 10月9日を「トランクルームの日」として記念日協会にて認定されたことに伴い、トランクルームの広報イベントを10月2日に実施
- 日本セルフストレージ協会主催「第1回収納写真コンテスト」の表彰式も同時に実施した



## 海外展開開始 海外物件を購入し情報に精通する

- ◆ 将来への布石：今期中に海外（欧米）展開を開始予定
- ◆ 海外物件を購入し、海外の協会・管理会社から情報収集
- ◆ 世界のストレージ情報に精通⇒日本のサービス向上



- ◆ 海外物件を購入し現地の協会に入会⇒ストレージ先進国（欧米・豪州）の事情に精通
- ◆ 先進国の商売、お客様のニーズ、収納の仕方など、世界のデータを毎月把握する
- ◆ システム、マーケティング、ニーズの掘り方など、当社でどんどん活用

⇒最終的にはストレージミニニを世界展開する

# 『当社は少人数経営を実現』

2000物件を70名強の正社員で運営

エリアリンクメソッド = 気づきシステム 10

社員の成長⇒事業の効率化・成長を実現

	項目	仕組み・制度
1	すべての基本	環境整備 エリアリンク教本 チップ制度 採点票
2	計画・実行	エリアリンクマスター
3	コミュニケーション	ハローサークル 泊り込み研修 キックオフ
4	理念の実践	ささやか「さすが」 理念活動指針 1 4 項目
5	社員のやる気促進	人事評価制度（年2回）
6	責任者育成	部署目的定義評価表 部下能力開発表 課題ノート 根本解決シート
7	外部の活用	人脈拡大システム トピックスメール
8	能力開発	自己成長プログラム
9	営業促進	仕入れ強化システム（S F改善）
10	健康管理	健康がすべて

気づきシステムをどんどん生み出す



書籍化し社会に具体的なノウハウを公表



当社を起点に見学会・勉強会を実施



社員がコンサルとして希望する企業に伝道

- ◆ **現在の配当性向：純利益の30%**
- ◆ **当社のビジネスから得られるキャッシュフローは株主還元に加え、国内での出店資金及び海外展開のための資金に活用**
- ◆ **事業が成長しキャッシュフローが出店資金以上増えた場合には、現状以上の配当性向にすることを検討**



## 経営理念

世の中に便利さと楽しさと感動を提供する

## 当社の使命

当社は全社員が収納のプロ集団「整理収納」で社会に貢献する企業に。ストレージ＝生活の質改善

当社は「100年建物」100年使用するストレージを開発、環境面から貢献する（ESG経営）

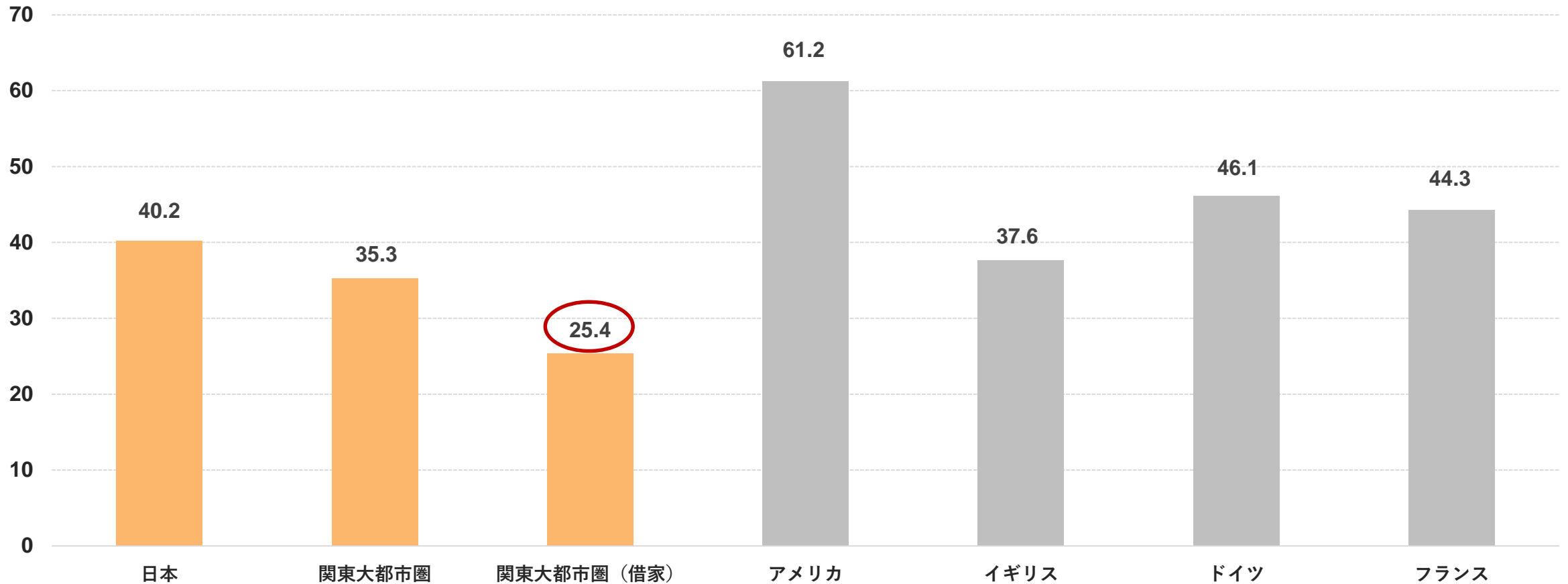
当社は「エリアリンクメソッド」を通じ社員のみならず社会全体の成長に貢献する企業に

# Appendix

単位：百万円			FY2021		FY2022		
			実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
ストレージ 運用	売上高	14,941	—	<b>15,725</b>	—	<b>+5.2%</b>	
	売上総利益	4,760	31.9%	<b>5,509</b>	<b>35.0%</b>	<b>+15.7%</b>	
	事業利益	3,568	23.9%	<b>4,306</b>	<b>27.4%</b>	<b>+20.7%</b>	
ストレージ 流動化	売上高	528	—	<b>641</b>	—	<b>+21.5%</b>	
	売上総利益	85	16.1%	<b>54</b>	<b>8.5%</b>	<b>△35.8%</b>	
	事業利益	△ 152	△28.8%	<b>△ 222</b>	<b>△34.6%</b>	<b>+45.8%</b>	
ストレージ事業	売上高	15,469	—	<b>16,366</b>	—	<b>+5.8%</b>	
	売上総利益	4,845	31.3%	<b>5,564</b>	<b>34.0%</b>	<b>+14.8%</b>	
	事業利益	3,415	22.1%	<b>4,084</b>	<b>25.0%</b>	<b>+19.6%</b>	
土地権利整備事業 (底地)	売上高	3,716	—	<b>3,110</b>	—	<b>△16.3%</b>	
	売上総利益	743	20.0%	<b>704</b>	<b>22.7%</b>	<b>△5.2%</b>	
	事業利益	442	11.9%	<b>464</b>	<b>14.9%</b>	<b>+5.0%</b>	
その他運用 サービス事業	売上高	1,385	—	<b>1,400</b>	—	<b>+1.1%</b>	
	売上総利益	445	32.2%	<b>448</b>	<b>32.0%</b>	<b>+0.6%</b>	
	事業利益	382	27.6%	<b>373</b>	<b>26.7%</b>	<b>△2.2%</b>	
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	
	売上総利益	—	—	—	—	—	
	事業利益	△ 1,195	—	<b>△ 1,180</b>	—	<b>△ 1.2%</b>	
全社	売上高	20,572	—	<b>20,878</b>	—	<b>+1.5%</b>	
	売上総利益	6,035	29.3%	<b>6,717</b>	<b>32.2%</b>	<b>+11.3%</b>	
	営業利益	3,044	14.8%	<b>3,742</b>	<b>17.9%</b>	<b>+22.9%</b>	

単位：百万円			2021年	2022年				
			通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
ストレージ運用	売上高	14,941	3,853	3,906	3,947	4,017	15,725	
	売上総利益	4,760	1,319	1,349	1,369	1,470	5,509	
	事業利益	3,568	1,026	1,050	1,071	1,158	4,306	
ストレージ流動化	売上高	528	139	262	235	4	641	
	売上総利益	85	12	15	22	4	54	
	事業利益	△ 152	△ 48	△ 53	△ 52	△ 67	△ 222	
ストレージ事業	売上高	15,469	3,992	4,169	4,183	4,021	16,366	
	売上総利益	4,845	1,332	1,364	1,391	1,474	5,564	
	事業利益	3,415	978	996	1,018	1,090	4,084	
土地権利整備事業	売上高	3,716	810	947	675	676	3,110	
	売上総利益	743	214	266	147	76	704	
	事業利益	442	172	191	81	19	464	
その他運用 サービス事業	売上高	1,385	341	349	361	347	1,400	
	売上総利益	445	107	115	112	113	448	
	事業利益	382	94	96	90	92	373	
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	—	
	売上総利益	—	—	—	—	—	—	
	事業利益	△ 1,195	△ 308	△ 294	△ 288	△ 288	△ 1,180	
全社	売上高	20,572	5,145	5,466	5,220	5,046	20,878	
	売上総利益	6,035	1,655	1,746	1,651	1,664	6,717	
	営業利益	3,044	936	989	901	914	3,742	

## 住宅面積が狭い日本は、収納に関する潜在需要が大きい

単位：m<sup>2</sup> 一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）

参照：国土交通省「令和2年度 住宅経済関連データ」  
住宅水準の国際比較 (2) 一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）

ストレージ：時代の変化に合致した多様なニーズを獲得する力がある

従来

さまざまなニーズでの利用実績がある

- 工具、資材置き場
- 季節用品（衣類・タイヤ・スポーツ用品など）
- コレクショングッズの収納、趣味を楽しむ部屋
- 引っ越し、リフォームによる一時的利用
- 終活による荷物整理／遺品の収納



コロナ禍

『新しい生活様式』のニーズを取り込む

- 自宅にテレワークスペースを設けるための荷物整理場所
- アウトドア用品の収納（キャンプブーム／外出自粛の影響）
- オンライン授業化により帰郷した大学生の荷物収納

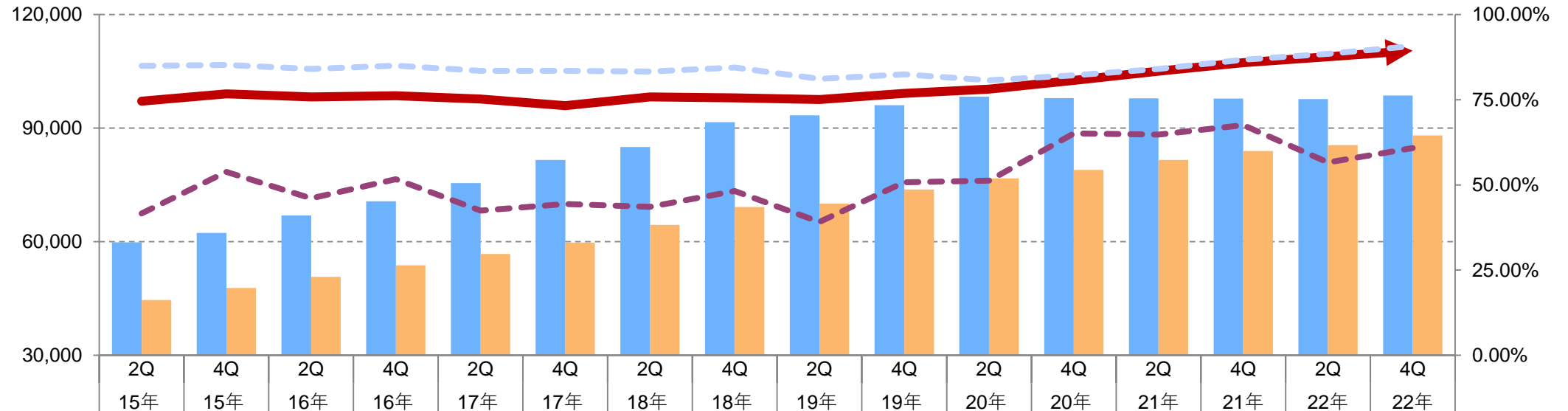


▶ ストレージは時代の変化に合致したニーズを取り込む力がある  
今後も需要拡大の期待が大きい

### 期末室数は10万室弱、今後大幅増見込む

#### 総室数、稼働室数、稼働率の推移

単位：室数



	2Q 15年	4Q 15年	2Q 16年	4Q 16年	2Q 17年	4Q 17年	2Q 18年	4Q 18年	2Q 19年	4Q 19年	2Q 20年	4Q 20年	2Q 21年	4Q 21年	2Q 22年	4Q 22年
総室数	59,802	62,325	66,923	70,651	75,440	81,555	85,005	91,545	93,372	96,067	98,289	97,885	97,836	97,784	97,657	98,581
稼働室数	44,603	47,796	50,739	53,786	56,742	59,748	64,432	69,169	70,064	73,815	76,743	78,958	81,583	83,960	85,504	88,092
稼働率 (%)	74.58%	76.69%	75.82%	76.13%	75.21%	73.26%	75.80%	75.56%	75.04%	76.84%	78.08%	80.66%	83.39%	85.86%	87.56%	89.36%
既存稼働率 (%)	84.90%	85.19%	84.03%	84.97%	83.45%	83.48%	83.24%	84.46%	81.10%	82.40%	80.68%	82.17%	84.03%	86.72%	88.46%	90.73%
新規稼働率 (%)	41.63%	53.84%	46.04%	51.69%	42.43%	44.36%	43.57%	48.20%	39.14%	50.73%	51.26%	65.10%	64.78%	67.54%	56.58%	60.81%

※オープンから2年以上経たものは「既存」、2年未満は「新規」としています。  
2022年は、2021年～2022年にオープンした物件を「新規」としています。

	コンテナ	トランク	その他	合計	総室数に
					占める割合
北海道	1,114	551	0	1,665	1.7%
青森県	50	48	0	98	0.1%
岩手県	20	0	0	20	0.0%
宮城県	1,640	0	0	1,640	1.7%
秋田県	31	0	0	31	0.0%
山形県	74	0	0	74	0.1%
福島県	167	0	0	167	0.2%
茨城県	851	0	0	851	0.9%
栃木県	369	0	0	369	0.4%
群馬県	1,022	0	0	1,022	1.0%
埼玉県	8,301	2,064	0	10,365	10.5%
千葉県	9,882	1,615	0	11,497	11.7%
東京都	16,983	13,701	0	30,684	31.1%
神奈川県	8,761	3,996	0	12,757	12.9%
新潟県	194	0	0	194	0.2%
富山県	177	0	0	177	0.2%
石川県	238	0	0	238	0.2%
福井県	143	0	0	143	0.1%
山梨県	202	0	0	202	0.2%
長野県	357	0	0	357	0.4%
岐阜県	611	0	0	611	0.6%
静岡県	1,672	0	0	1,672	1.7%
愛知県	5,073	996	0	6,069	6.2%
三重県	335	50	0	385	0.4%

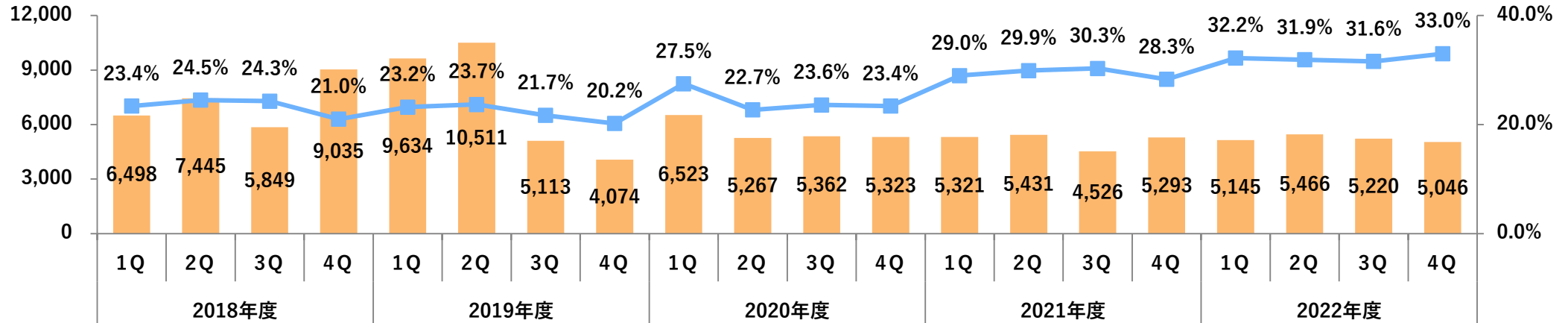
	コンテナ	トランク	その他	合計	総室数に
					占める割合
滋賀県	261	0	0	261	0.3%
京都府	1,557	216	0	1,773	1.8%
大阪府	4,168	1,225	0	5,393	5.5%
兵庫県	3,731	121	0	3,852	3.9%
奈良県	637	0	0	637	0.6%
和歌山県	27	0	0	27	0.0%
鳥取県	85	0	0	85	0.1%
島根県	30	0	0	30	0.0%
岡山県	218	0	0	218	0.2%
広島県	394	0	0	394	0.4%
山口県	224	47	0	271	0.3%
徳島県	49	0	0	49	0.0%
香川県	351	70	0	421	0.4%
愛媛県	159	0	0	159	0.2%
高知県	69	0	0	69	0.1%
福岡県	2,369	0	0	2,369	2.4%
佐賀県	106	0	0	106	0.1%
長崎県	114	0	0	114	0.1%
熊本県	383	0	0	383	0.4%
大分県	110	0	0	110	0.1%
宮崎県	150	0	0	150	0.2%
鹿児島県	386	0	0	386	0.4%
沖縄県	36	0	0	36	0.0%
<b>合計</b>	<b>73,881</b>	<b>24,700</b>	<b>0</b>	<b>98,581</b>	<b>100.0%</b>



## 全事業業績－四半期推移

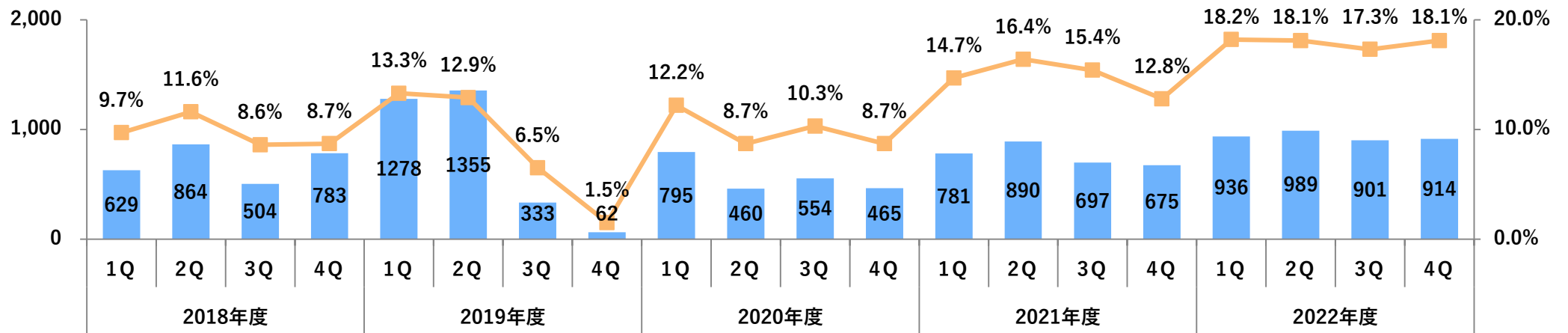
### 売上高(売上額・売上総利益率)の推移

(単位：百万円)



### 営業利益(利益額・利益率)の推移

(単位：百万円)



2022年12月末日時点

物件名	所在地	物件数	用途	帳簿価額 (土地・建物) 単位：百万円
トランクハウス24シリーズ	東京都ほか 5都道府県	37	ストレージ	6,664
ホテル (コンフォートイン・ベストイン)	山梨県甲府市他	5	ホテル	1,082
神田BMビル	東京都千代田区	1	事務所・店舗	909
銀座出井ビル	東京都中央区	1	店舗	889
海外ストレージ	米国テキサス州	1	ストレージ	734



トランクハウス24目黒本町  
(東京都目黒区)



トランクハウス24平塚老松町  
(神奈川県平塚市)



銀座出井ビル  
(東京都中央区)



神田BMビル  
(東京都千代田区)



テキサスストレージ  
(米国テキサス州)

## ◆ IRメール配信

IRメール配信は最新のニュースリリース等のIR情報をメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。三菱UFJ信託銀行 証券代行部が運営する「RIMSNETサービス」により、ご登録いただきましたメールアドレスにEメールを配信いたします。

ご登録はこちら ⇒ <https://rims.tr.mufg.jp/?sn=8914>

## ◆ 暮らしと収納に関する情報サイト『kurasul（クラスル）』

ストレージを活用した豊かな暮らしを継続的に提案

<https://kurasul.hello-storage.com/>

kurasul  
QRコードからも読み取れます



当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、資料作成時点において、当社が合理的に入手し、可能な情報に基づいて、予測し得る範囲内で判断をし、作成した資料です。

しかし実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または結果など、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的に開示を努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先

エリアリンク株式会社 管理本部 IR室

TEL : 03-3526-8556 E-mail : [info@arealink.co.jp](mailto:info@arealink.co.jp)